

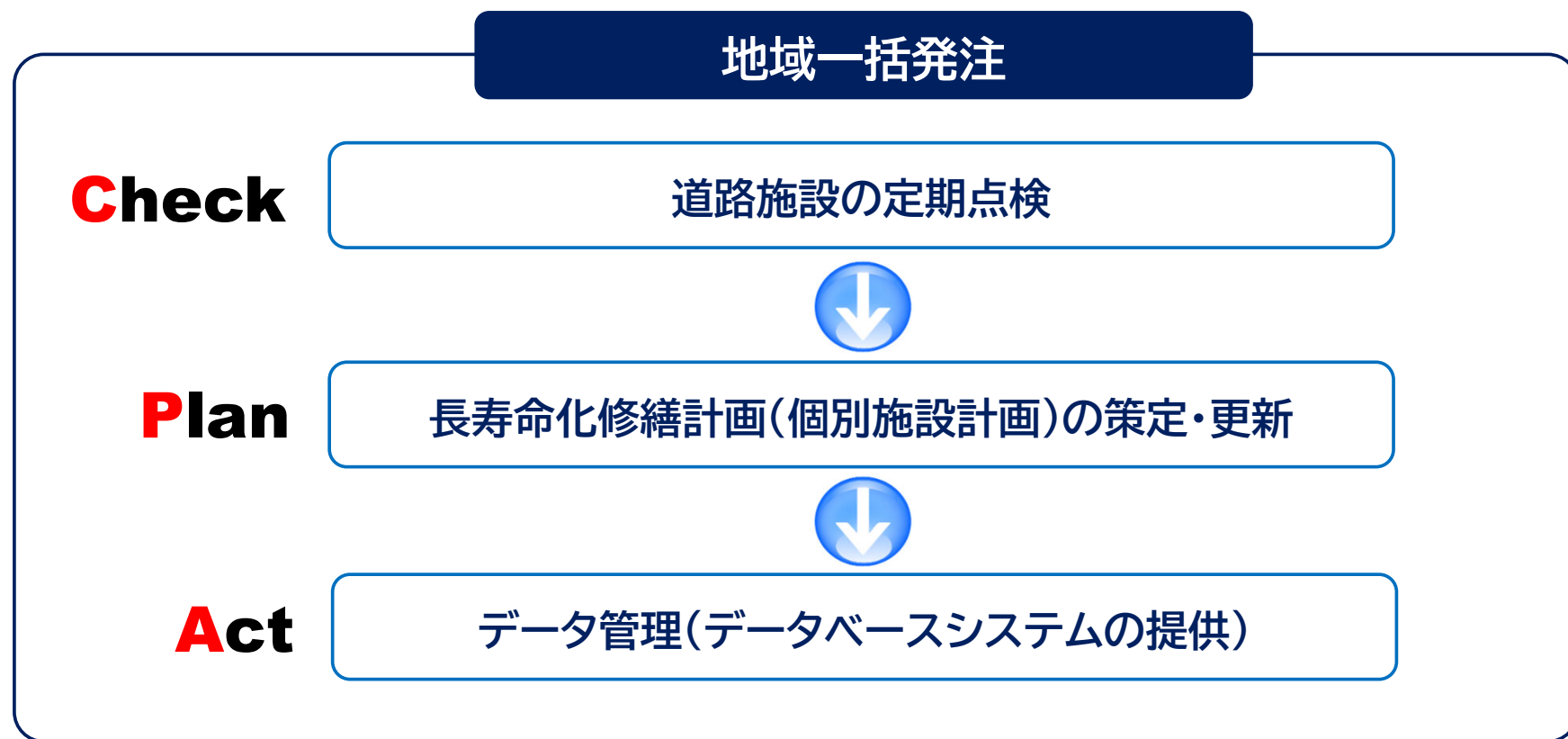
市町村インフラメンテナンス支援の取組

地域一括発注による市町村支援の実績

年	内容
平成26年度	・ 橋梁定期点検の一括発注を開始（県内2市）
平成30年度	・ 県内21市町村の点検を一括発注 ・ 橋梁点検1巡目が完了 ・ 県内22市町村の橋梁長寿命化修繕計画策定
令和2年度	・ 市町村道路施設データベースシステムの構築 ・ 一括発注参画が県内24市町村となる
令和5年度	・ 橋梁点検2巡目（R元～R5）が完了 ・ 要領改定に伴う橋梁長寿命化修繕計画の見直し（県内24市町村）
令和6年度～	・ 橋梁点検3巡目（R6～R10）
令和7年度	・ JR跨線橋の定期点検に関する費用と手続きを一本化

市町村インフラメンテナンス支援の取組

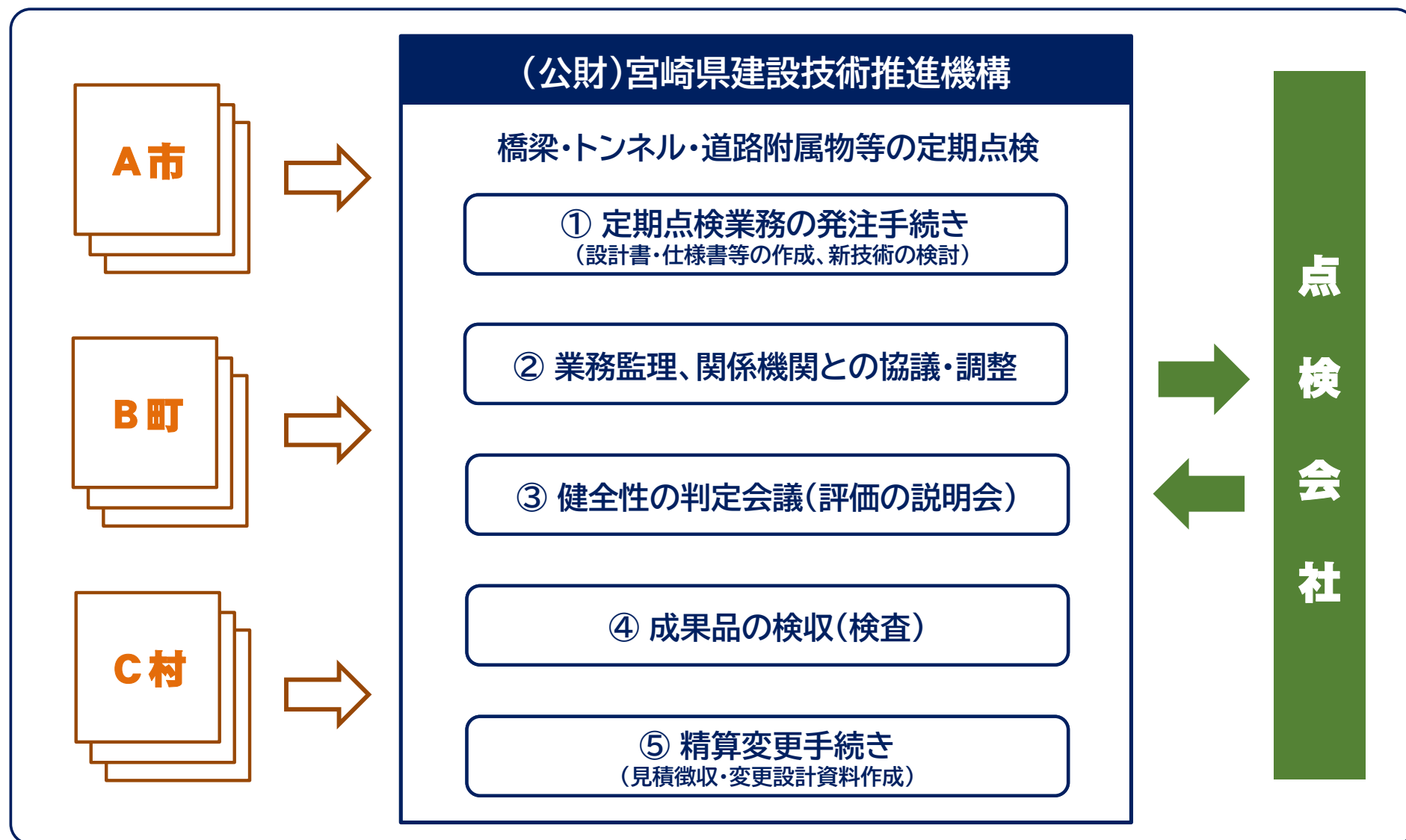
地域一括発注の範囲



一括発注の効果：①コスト縮減 ②業務効率化 ③品質向上

市町村インフラメンテナンス支援の取組

橋梁点検の地域一括発注



市町村インフラメンテナンス支援の取組

効果 1

スケールメリットによる点検費用の縮減

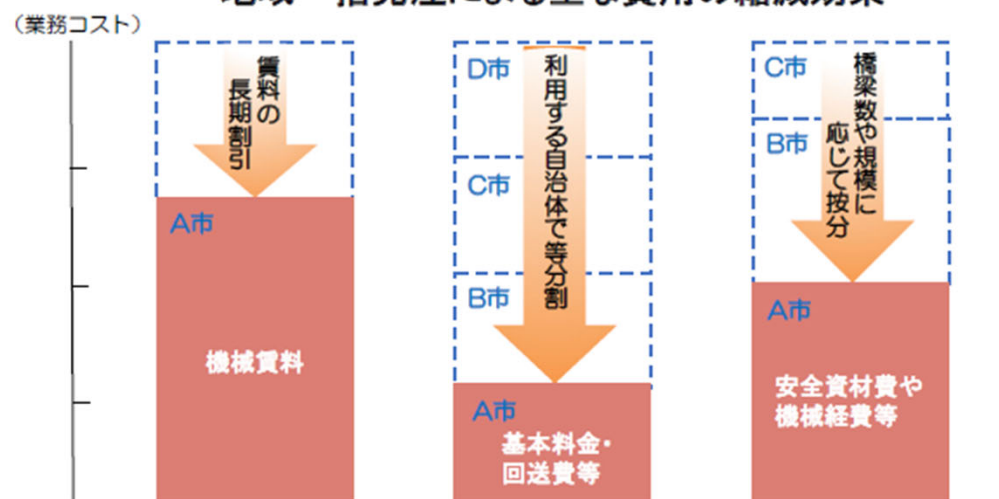
MERIT

- 1 大規模ロットにより橋梁点検車などの賃貸期間が、1ヶ月以上にわたるため長期割引の適用が可能
- 2 建設機械（橋梁点検車BT-400等）の回送費や新技術機器等の基本料など、1業務当りで発生する費用を各自治体で均等割が可能
- 3 交通規制（高速道路等）に係わる保安機材や建設機械等の賃料など、市町村間を跨いで使用する機器機材等の費用を各自治体で按分

DEMERIT

- 1 業務価格 × 7% = 業務監理費（事務費）

地域一括発注による主な費用の縮減効果



業務価格の約1割削減



市町村インフラメンテナンス支援の取組

効果 2

協議を一本化し、業務効率化と市町村職員の負担軽減

市町村毎に協議

従来は・・・

A市



NEXCO・JR

B市



NEXCO・JR

C町



NEXCO・JR

D村



NEXCO・JR

業務の効率化

包括協議

全市町村を包括して協議

推進機構※



NEXCO

WIN-WIN

- ・日程調整の簡素化
- ・協議時間の短縮(効率的)
- ・管理者から留意事項などの伝達が一律
- ・対応者の窓口が一本化

推進機構※



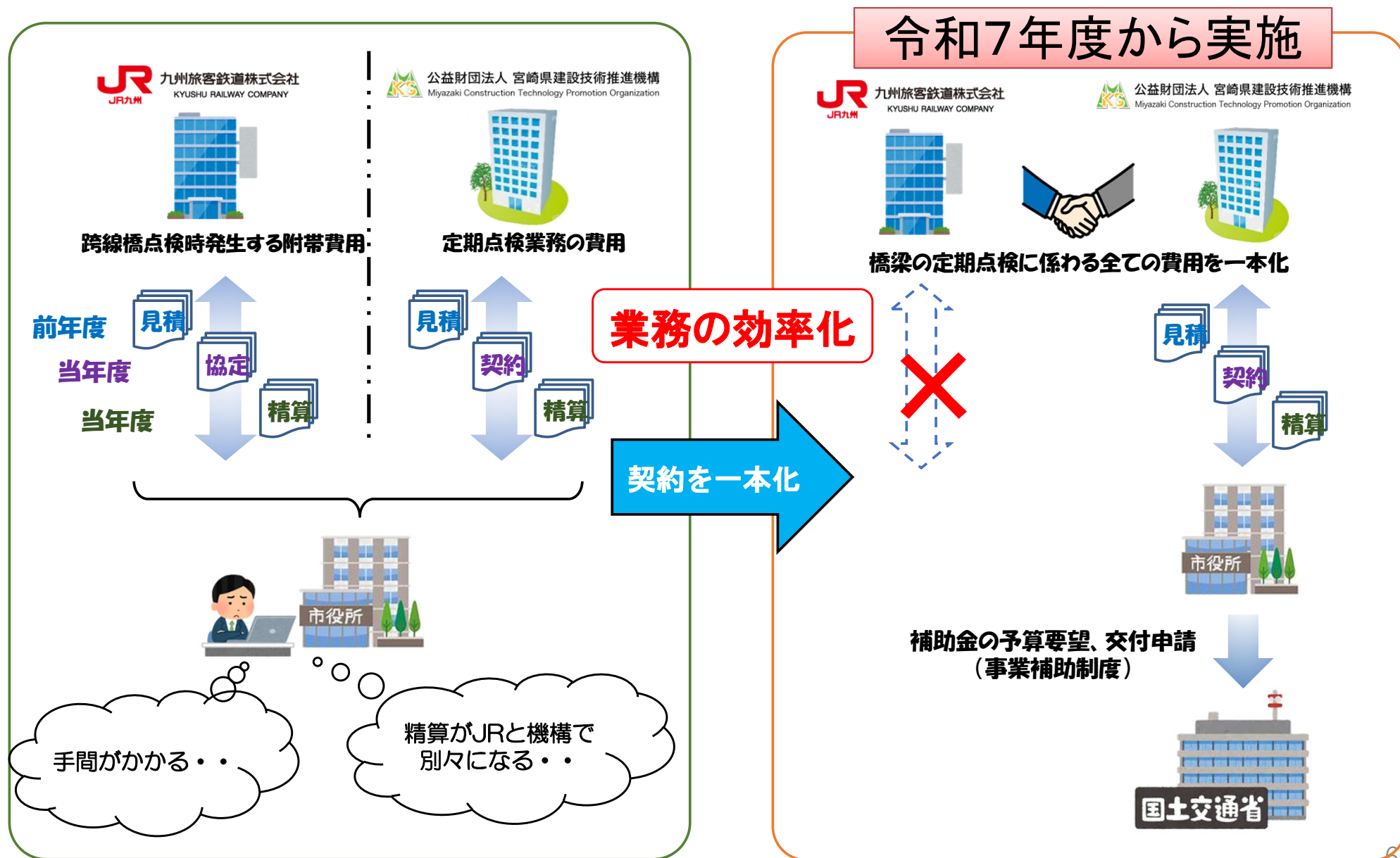
JR

※ 協議は推進機構が代行。
各資料を作成し関係機関へ提出。

市町村インフラメンテナンス支援の取組

JR跨線橋の定期点検に関する費用・手続きを一本化

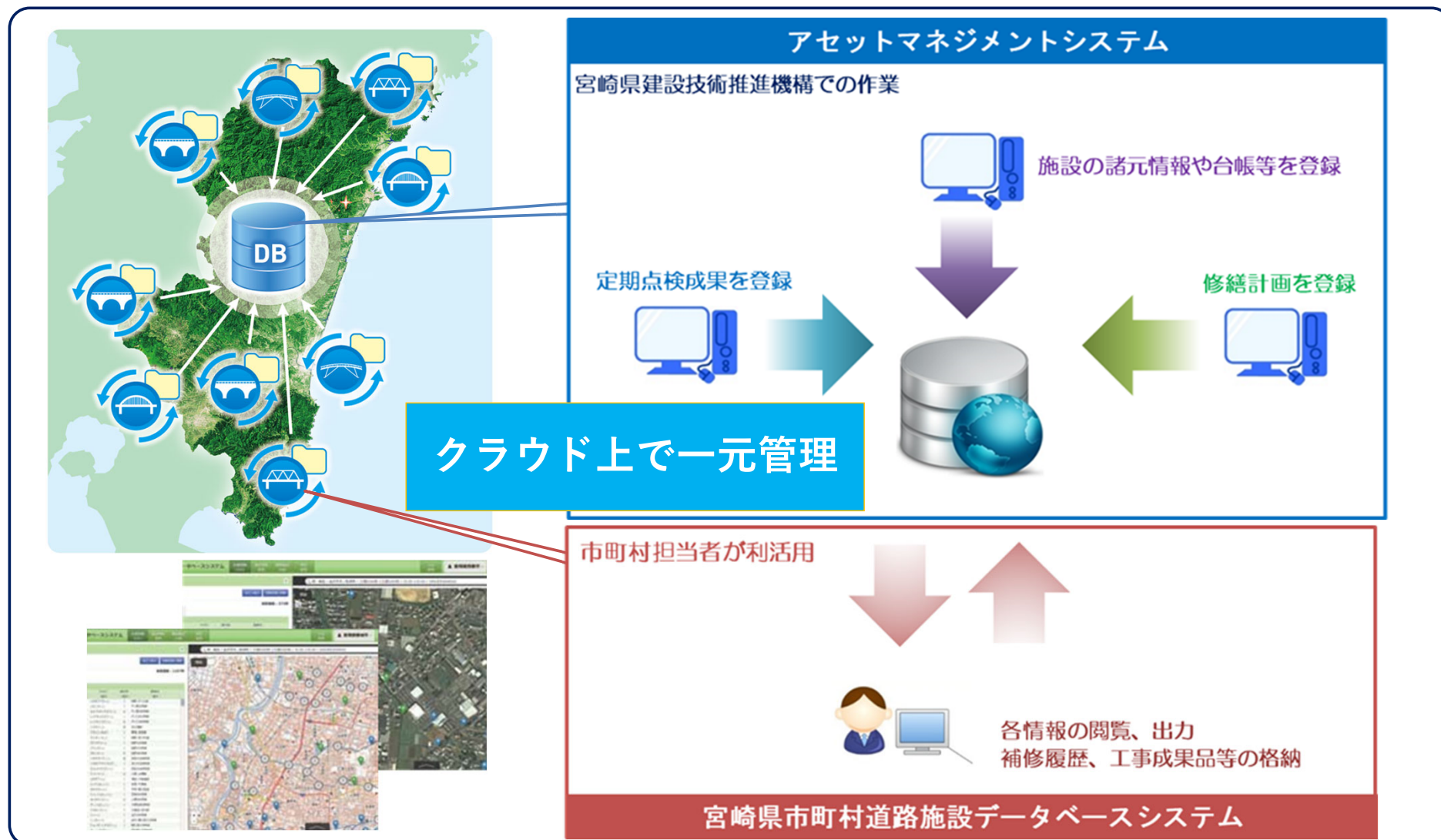
令和7年度から実施



市町村インフラメンテナンス支援の取組

効果 2

データベースシステムを活用した業務効率化

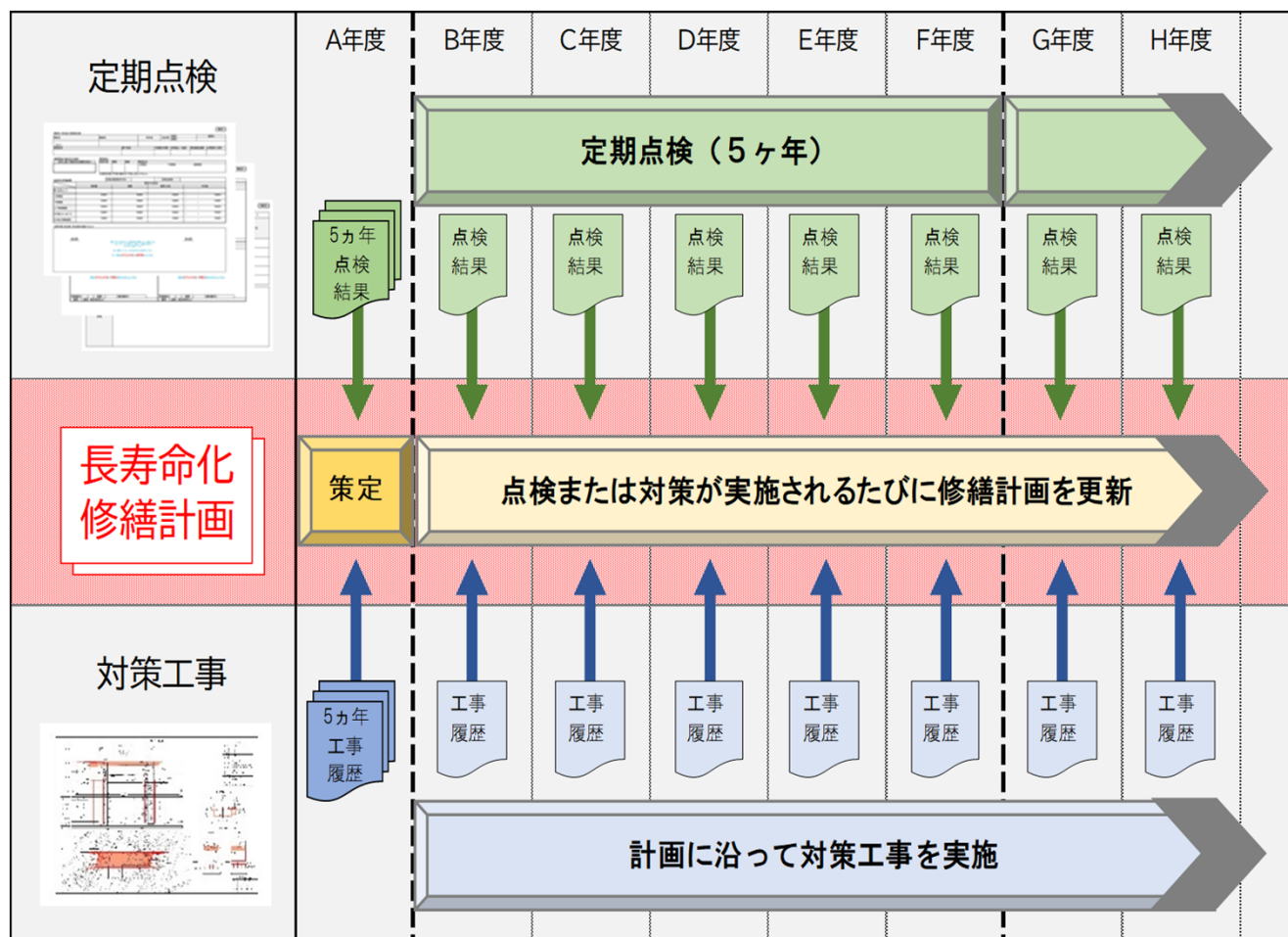


市町村インフラメンテナンス支援の取組

効果 3

不断の見直しと市町村間の整合による品質向上

長寿命化修繕計画（個別施設計画）策定と更新



不断の見直しにより修繕計画の充実化



定期点検完了後、判定会議を実施するとともに、次年度の維持管理に向けて、管理者と協議を行い、現状に応じた最適な修繕計画に更新。

市町村インフラメンテナンス支援の取組

管理者の垣根を越えた広域連携の拡大

